

1 本園の教育目標

○しなやかな心を持ち、たくましく生きる子供
 ・自分で考え、自分の力でやってみようとする子供 ・生き生きと遊ぶ子供
 ・豊かな感性を持ち、表現する子供 ・自分も友達も大切にする子供

2 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

努力目標 「居心地 いいこち！」
 ～子供とつながる、子供がつながる～

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目の達成及び取組状況	結果	理由
幼児理解	B	子供の姿の捉え方、支援の方法について研究に取り組み、心地よい集団づくりの第一歩は「幼児理解」であることを実感することができた。
特別支援教育	B	子供の姿の読み取りを丁寧に行い、子供一人一人の課題を明確にしながら援助を考えることができた。
教育活動	A	子供の声の実現できるよう行事や取り組みを進めたことで、自分達の思いが実体験につながる満足感や達成感を味わい、意欲の向上が見られた。

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	幼児理解や人とのつながりについて学びを深めることができ、安心・居心地をキーワードにクラス作りに取り組むことができた。また、少人数での行事や保育内容の持ち方について、子供とともに考えていくことができた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
地域・家庭との連携	地域の関係施設や家庭との連携、交流の計画を立て、子供の育ちの保証に努めるとともに、少人数ならではの教育活動に挑戦する。
教員の資質向上	園内研修を行い、幼児理解についてさらに学びを深めていけるよう、子供の姿の捉え方や教師の言葉かけ、援助について視野を広めていく。
特別支援教育	配慮が必要な子供の特性の多様化への対応や子供の成長に合わせた支援について、研修参加や園内協議で学びを深める。

◎3.4. の評価結果の表示方法

A十分達成されている B達成されている C取り組まれているが成果は十分でない D取組が不十分である